

第1学年 音楽科

まつさかしりっだいにんしょうがっこう
松阪市立第四小学校



【学習目標】

- 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
- 音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
- 楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

【学習を進めるにあたって】

| | | |
|------|--------------|-----------|
| 使用教材 | | |
| 教科書 | 「小学生のおんがく 1」 | (教育芸術社) |
| 副教材 | | |

| | | |
|-----|---------|----------------|
| 持ち物 | | |
| 教科書 | 鍵盤ハーモニカ | ふでばこ 下敷き タブレット |

【学習の約束】

- よい姿勢で口を大きく開けて歌いましょう。
- 楽器の使い方を知り、大切に使いましょう。
- 楽しみながら音楽を聴きましょう。
- 積極的に発表して自分の考えを伝えましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

がくしゅうないよう
【学習内容】

| ぜん 期 前 | こう 期 後 |
|---|--|
| 1 うたっておどってなかよくなる 2 はくをかんどろう 3 はくにのってリズムをうとう 4 みのまわりのおとにみみをすまそう 5 どれみとなかよくなる | 6 せんりつでよびかけあおう 7 がっきとなかよくなる 8 ようすをおもいうかべよう 9 にほんのうたをたのしもう 10 みんなであわせたのしもう <small>※子どもたちの様子や社会情勢、他の行事との関係で学習する順序を変える場合があります。</small> |

ひょうか かんてん ばめん ほうほう
【評価の観点および場面・方法】

| ひょうか かんてん 評価の観点 | | ひょうか ばめん ほうほう 評価の場面・方法 |
|---|--|--|
| 知 識 ・ 技 能 | きょくそう おんがく こうぞう かか きづ おんがくひょうげん たの 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付き、音楽表現を楽しむために ひつよう かしょう ぎのう み つ 必要な歌唱の技能を身に付けている。 きょくそう おんがく こうぞう かか きづ おんがくひょうげん たの 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付き、音楽表現を楽しむために ひつよう きがく おんがく ぎのう み つ 必要な器楽や音楽づくりの技能を身に付けている。 | じゅぎょう ようす うた けんばん 授業の様子 歌のテスト 鍵盤ハーモニカテスト |
| 表 現 ・ 判 断 ・ 思 考 | おんがくひょうげん かんが ひょうげん おも 音楽表現を考えて表現への思いをもっている。また、曲や演奏の楽しさを見い おんがく あじ き だし、音楽を味わって聴いている。 | じゅぎょう ようす はつげん はっぴよう かんしょう 授業の様子 発言・発表 鑑賞のワークシート 歌のテスト |
| 取 組 み ・ 主 体 的 に 学 習 に 関 与 す る | おんがく した かつどう たの きょうどう ひょうげんおよ かんしょう がくしゅうかつどう と 音楽に親しみ、活動を楽しみながら、協働して表現及び鑑賞の学習活動に取り 組んでいる。 | じゅぎょう ようす はつげん はっぴよう かえ 授業の様子 発言・発表 ふり返り |